

北海道浮魚ニュース

平成 20(2008)年度 5 号 (通巻 No.258)

2008 年 6 月 27 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道西日本海スルメイカ調査結果 (おやしお丸 : 6/17 ~ 6/25 の調査)

分布密度は前年を下回り, 魚体サイズは小型

スルメイカの分布密度と魚体サイズ

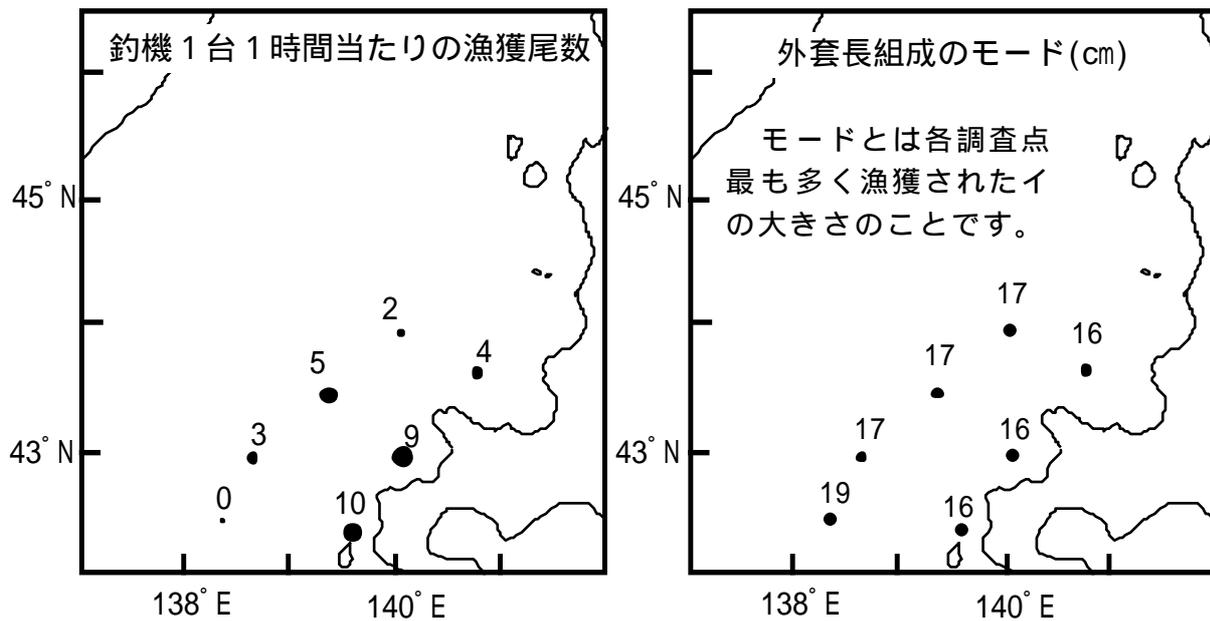


図 1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0 ~ 10 でした (図 1 左側)。岩内、瀬棚沖の調査点が高く, 最低は一番沖合で南側の調査点でした。調査全体の平均 CPUE は 5 であり, 前年 (9) を下回りました (図 2)。

各調査点におけるスルメイカ外套長のモードは 16cm から 19cm で (図 1 右側), 沿岸の調査点で 16cm と小さくなって

いました。全調査点合計でも, やはり外套長 16 ~ 17cm 台が中心で, 前年よりもさらに小さくなっていました (図 3)。

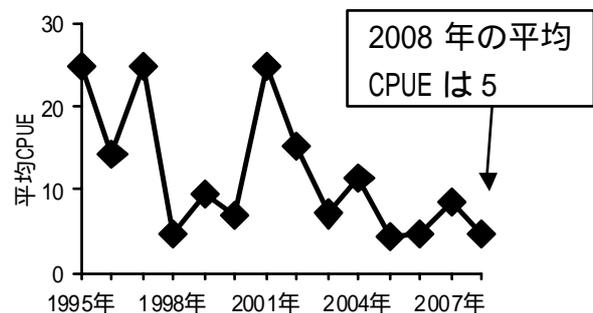
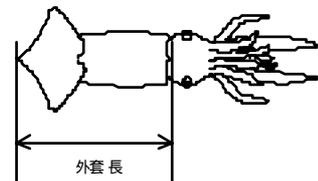


図 2 平均 CPUE の経年変化



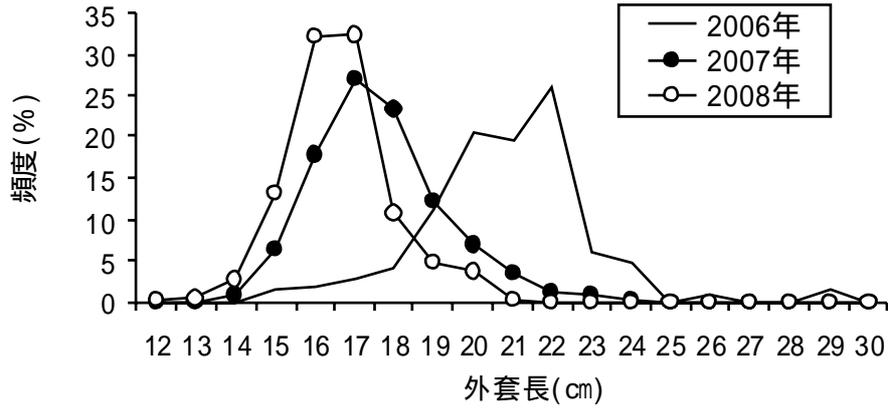


図3 調査海域全体の外套長組成

水温分布

調査海域の50m層水温は、3.3~11.5（前年：4.4~12.5）でした（図4）。前年よりも5以下の水域が広がっています。また、調査海域の表層水温は13.9~17.6（前年：13.5~16.6）でした。

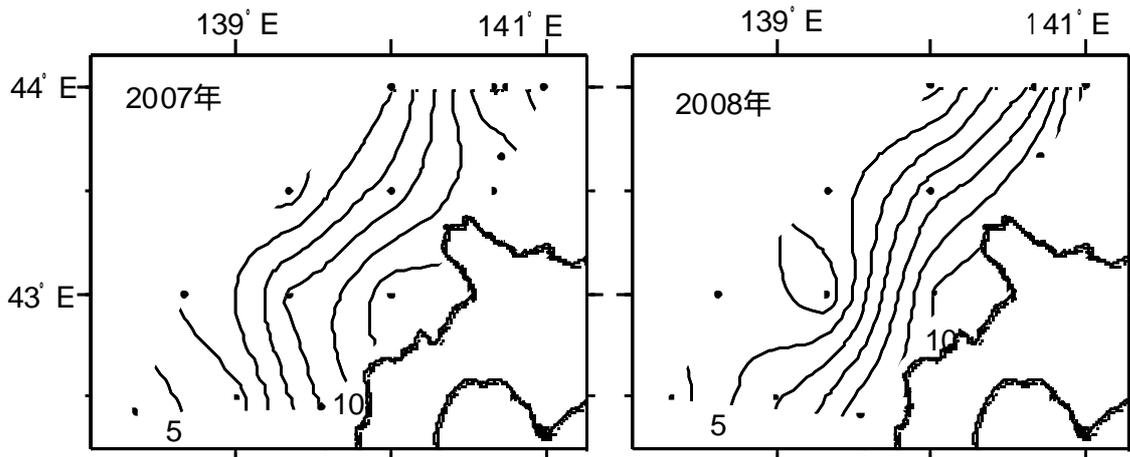


図4 6月下旬の50m深水温分布

標識放流

下記の地点でスルメイカの標識放流を行いました。標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせ下さい。

放流月日	放流場所	標識の色・番号	放流尾数
6月17日	N43°01', E140°02'	黄色 M50-M51	199

今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環として実施しました。全船の調査終了後の7月下旬には、漁況予報が発表されます。

（文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709）